

北里大学理学部同窓会報

2017年 第20号



平成28年度 定期総会集合写真

● CONTENTS ●

会長挨拶……………	P 2	近況報告バトンタッチ……………	P 9
新任のご挨拶……………	P 3	同期会報告……………	P 12
平成28年度理学部同窓会定期総会報告……………	P 5	集会援助手続……………	P 12
卒業研究功労賞……………	P 7	理学部事務室より……………	P 13
就職ガイダンス……………	P 7	平成30年度理学部入学試験日程(予定) ……	P 14
活躍する同窓生……………	P 8	就職センター、同窓会からのお願い……………	P 15



「理学部卒業生にとっての同窓会とは」

理学部同窓会会長 沼上 清彦
(HC6)

会員の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

現在、理学部同窓会は、7,343名の会員を対象に役員諸氏の弛まぬ努力により種々の事業を円滑に進めさせていただいております。これも皆さまのご理解とご協力があればこそと深く感謝を申し上げます。

さて、今年の会報で、会長として5つの重点的な運営方針を述べさせていただきました。それらは、①理学部とのさらなる関係の強化、②事業の対象を理学部卒業生に移行する足がかりの構築、③役員世代交代、④起源を一にする医療衛生学部同窓会との周年事業の共催、そして、⑤本会が担当する第51回北里大学同窓会講演会の成功です。

⑤の講演会については、今年の2月におかげ様をもちまして盛会裡に終了することができました。①の学部との関係については、意思疎通に齟齬が発生しないよう平素より努めることで、良好な関係が構築できていると思っています。しかし、②の理学部卒業生に軸を置いた事業展開や③の役員世代交代、さらには④の医療衛生学部同窓会との周年共催事業については、遅々として進んでおりません。

特に、②の理学部卒業生に軸を置いた事業展開や③の役員世代交代は、意図するところが同じであり、理学部卒業生の皆さまに同窓会の存在を感じ取っていただけるための有力な方策であろうと考えています。

北里大学の多くの学部は職能性が強く、卒業生の連帯もこれにより保たれている面があります。その点、理学部卒業生の職域は7学部の中で恐ら

く最も広く、かつ理学部に依存しない仕事内容が圧倒的であるため、卒業生が理学部への帰属意識を形成しにくい環境にあります。したがって、理学部同窓会に対する意識も然り、希薄なのです。

このことは、理学部卒業生の“KITASATO 100×50”への寄附金額や北里大学同窓会への年会費納入率が学部別で極めて低位にあることから窺い知ることができます。

このような現実を踏まえて、理学部卒業生に同窓会を身近な存在として認識していただくためには、まずは役員を大胆に世代交代し、新しい形の事業を展開していくことが必要であろうと考えているわけです。

しかし、これが失敗すれば、新たな事業展開どころか名前だけの役員が増えて、理事会や総会が成立しないことにより、運営ができなくなるリスクを孕んでいます。

同窓会は、あってもなくてもどうでも良いようなイメージがありますが、卒業生の絆を支える実に大切な組織です。会員や準会員に対する種々の事業のみならず、母校の発展に寄与すること、そしてその一環で、経営母体である学校法人北里研究所に評議員や理事を出しています。

すなわち、皆さまは理学部同窓会活動を通じて、理学部や北里大学の発展に貢献していただくことができるのです。同窓会に興味や思いをお持ちの理学部卒業生の皆さまには、是非とも、理学部同窓会事務局までご一報をいただければ幸いです。

理学部同窓会に対する皆さまの一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



物理学科長就任のご挨拶

物理学科長 川崎 健夫

本年度7月より物理学科長に就任しました川崎健夫と申します。昨年4月に北里大学理学部へ異動して参りました。非線形物理学講座（現在は量子物理学講座）の教授として着任してから1年と少しですが、このたび前任の菅原先生より学科長職を引き継ぐこととなりました。不慣れなことも多くご迷惑をおかけするかと思います。任期の2年間精一杯務めさせていただきたいと思っております。

学科の近況を少しお知らせしたいと思います。学科では夏休みも終わって後期に入り、ほとんどの卒業を控えた学生の就職先や進学先が決まりつつあります。進学と就職の割合はあまり変化していませんが、志望就職先が近年多様化しているように思います。一昔前はプログラミングに関する知識を活かした、コンピューター・ソフトウェア関連への就職が目立ちました。物理修了者の強みは未知の問題に対する対応力だと考えています。コンピューター関連企業は既に成熟業種であり、物理出身者

がチャレンジングに開拓していく時代ではなくなったのかもしれない。

物理学科では高校指導要領の改訂に対応して、2年前に授業カリキュラムの見直しを行いました。来年度、全学年が新カリキュラムへの移行を完了することになります。しかし、前述のような希望進路の多様化に対応するために、更なる大幅なカリキュラム修正を検討中です。物理学の基礎はしっかりと学びつつ、これまでとは異なった業種・職種への人材の輩出も視野に入れた教育を目指します。また、物理学科では今後5年間で複数の教員の方が停年退職されます。研究分野の構成は、学科で重視する「基礎研究を通じた人材の育成」に大きく影響します。学科としてどのような分野の研究を充実させていくかは、今後の重要な検討課題だと考えています。検討しなければならない課題は他にもいろいろありますが、同窓会の皆様には、今後ともご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



化学科長就任のご挨拶と現況のご報告

化学科長 石川 春樹

平成28年7月より化学科長を拝命いたしました分子構造学講座教授石川春樹です。北里大学へ着任して5年目になります。理学部教授陣の中でもまだまだ若輩者だと思っておりましたが、気がついてみますとこの度学科長となった3名の中では一番の古株になっておりました。先日平成29年度入学者の推薦入試があったり、来年度の4年生のゼミ配属があったりで、いよいよ学科長としての責務を感じるようになってきました。北里大学理学部ならびに化学科の教育、研究の発展とそのための学科、学部運営に貢献できるよう努力したいと考えております。

化学科では、昨年度分子構築学講座に神谷昌宏先生、今年度反応機構学講座に前山拓哉先生のお二人のニューフェイスを迎え、教員全員で教育・研究に励んでおります。教育研究に関しては特に目立った変化はありません。就職状況については、ここ数年で日程がめまぐるしく変わりましたが、なんとか高い就職率を維持できてい

ます。これは当事者の学生たちが翻弄されながらも頑張った結果ではないかと思っております。

本来は学科長としてのご挨拶の場ではありますが、少し別の話題をさせていただきます。現在、大学は7年に一度認証評価を受けることになっており、北里大学は今年が受審の年でした。私は理学部・理学研究科の自己点検・評価委員長として、理学部・理学研究科の現状をまとめて報告書の作成にあたりました。まだ評価結果は出ておりませんが、多少の改善点はあるものの概ね良好な評価になるものと考えております。大学認証評価については次の7年に向けての取り組みがスタートします。次期評価では、大学の出口つまり卒業者の質保障の評価が求められるようです。具体的な内容はまだわかりませんが、卒業生の皆様のご協力をお願いすることが十分予想されますので、その際には是非ご協力頂きますようよろしくお願い致します。



生物科学科長就任のご挨拶

生物科学科長 木村 透

高松信彦前学科長の後任として、生物科学科長を拝命いたしました。微力ながら生物科学科の発展のために務めてまいりますので、宜しくお願い申し上げます。

私は、大阪大学理学部を卒業後、大学院から北里大学に着任するまで、大学の研究所と医学部で研究をして過ごしてきました。3年前、久しぶりに理学部に戻ってきて、ようやく北里大学にも理学部にも慣れてきたところです。

私が着任して、生物科学科の4講座の教授が全員代替わりしたことになります。2014年には、生物情報科学講座が分子生物学講座に、分子発生学講座が幹細胞学講座に、生体機能学講座が細胞生物学講座に、生体防御学講座が免疫学講座に改称しました。

教授以外にも、多くの若手の教員が各講座に着任しています。教員が丸一となって、生物科学科を活性化させていきたいと考えております。講義では、ゲノム機能学やゲノム発生学など科目名を変更し、時代に合った新し

い方向へと、講義内容を変えたものもあります。実習でも、新しい内容を取り入れながら、これから必要とされる技術や知識を習得できるようにしています。

大学の使命は、教育と研究にあり、それを両立させていかなければなりません。特に、理学部は基礎学問を研究する学部であり、北里大学の中で、研究面での存在感が求められています。昨年は、免疫学講座の助手の石原沙耶花さんが、Nature Communications誌に成果を発表しました。このレベルの成果を持続的に発表できるように、研究しやすい環境の整備も必要だと思います。

収容定員の厳格化が求められる時代になってきています。生物科学科は、定員増が認められ、今年度から定員が70名から80名に増加します。広報活動には、同窓会の皆様から多大なご協力を頂いておりますので、多数の志願者が得られることを願っております。これまでと同様にご支援、ご協力をお願い申し上げます。



就職指導委員長就任のご挨拶 「伝統ある同窓会は理学部の宝」

就職指導委員長 米田 茂隆

就活の際に企業から「北里大学にも理学部があるのですね？」という質問をされた学生がいました。理学部が改組直後のまだ無名だった頃のことです。さすがに30年近くたった今ではこういうこともなく、北里大学理学部には「充実した教育をする」という信頼が広く確立されていると思います。ちなみに、企業の場合、信頼されるブランドを持たなければ優良な財務実現が困難です。病院でも、一般患者に高い初診料を徴収する特定機能病院を本学が経営できるのは権威と信頼があればこそです。学部・大学院ではなおさらのことで、昨年、大村智先生がノーベル賞を受賞されましたが、このような卓越した科学者の存在は権威と信頼を高め、かならず就職状況改善にもつながると思います。理学部同窓会は衛生学部からの長い伝統を持ち活発な活動をされていますが、まさに権威と信頼のあかし、理学部の宝であります。

過去数年の理学部就職率は本学HPで公表されていま

すが、毎年100%近い値が維持されています。毎年、希望者がほぼ全員就職を実現しているということなのですが、不景気の時には就職率は変わらずとも内定が遅れたり第1志望への就職が実現しなかったりしますので、さらにハイレベルな就職状況を目指して親身の指導を徹底したいところです。同窓会には就職ガイダンスにひとかたならぬご尽力をいただいております。また、カミングホーム活動も卒業生への有益な活動であると同時に志願者増と就職状況改善のために重要です。また、在校生の会社訪問・卒業生から採用活動に関して、卒業生の存在は在校生にとっての大きな財産であります。私は本学の権威を高めることこそ、本学が在校生・卒業生に対して与えられる一番の贈り物だと思っています。今後も同窓会のますますのご発展を期待するとともに、引き続きご支援を賜りたいと願っております。



平成28年度理学部同窓会定期総会報告



平成28年度理学部同窓会定期総会が5月21日（土）、午後12時45分から相模原キャンパスS号館（理学部校舎）3階セミナー室に於いて開催されました。終了後、真崎学部長、菅原物理学科長、丑田化学科長、高松生物科学科長、米田就職指導委員長にご出席を頂き、学部、各学科および就職関係の近況説明が行われました。その後、ドミトリイ2階喫茶室に於いて懇親会を行いました。

との報告があった。

平成27年度の事業、決算および監査報告を審議し、全会一致で承認された。

平成27年度収支決算書

自平成27年4月1日 至平成28年3月31日

収入の部 (単位：円)

費目	① 予算	② 決算	増減 (②-①)
学部還元金	5,285,000	5,285,000	0
年会費	300,000	300,000	0
会報送料補助	372,000	372,000	0
利子	3,000	3,102	102
前年度事業資金	0	0	0
雑収入	0	10,000	10,000
積立金戻入	700,000	0	△ 700,000
前年度繰越金	1,432,061	1,432,061	0
合計	8,092,061	7,402,163	△ 689,898

支出の部 (単位：円)

分類	大項目	中項目	① 予算	② 決算	増減 (②-①)
運営費	会議費	総会費	1,600,000	806,078	1,345,808
		理事会費		500,370	
		委員会費		39,360	
		事務人件費		1,167,684	
		通信用料	1,730,000	81,363	1,442,946
渉外費	雑費	郵便費	300,000	5,994	93,840
		慶弔費		50,000	
		交際費		43,840	
事業費	集会援助費		200,000	101,400	△ 98,600
	会報発行		1,350,000	1,126,145	△ 223,855
	就職ガイダンス		550,000	480,203	△ 69,797
	教職員との懇談会	懇談会費	250,000	198,211	△ 51,789
	学部への寄贈品	図書	100,000	99,886	△ 114
		物品	0	0	
	講演会協力費	担当手当	100,000	187,677	87,677
	卒業研究功労賞		240,000	240,000	0
	カミングホーム		0	0	0
	学生会支援	卒業祝賀会協賛金	150,000	123,480	△ 26,520
	ホームページ	プロバイダー費	50,000	29,289	△ 20,711
	Kitasato100×50	寄付	1,000,000	1,000,000	0
積立金		0	0	0	
次年度用事業資金		250,000	250,000	0	
予備費		222,061	0	△ 222,061	
合計		8,092,061	6,718,885	△ 1,373,176	
次年度繰越金					683,278

貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
現金	88,633	前期積立金	12,670,638
郵便貯金	509,153	次年度繰越金	683,278
普通預金	5,562,714	前年度事業資金	250,000
事務局用普通預金	342,040		
定期預金	7,101,376		
合計	13,603,916	合計	13,603,916

平成27年度監査報告書

北里大学理学部同窓会規約第9条第4号の規程に基づき、平成27年度（自・平成27年4月1日 至・平成28年3月31日）の会計並びに事業の執行を監査した結果、正確かつ妥当であることを認めます。

平成28年4月10日

北里大学理学部同窓会

監事 櫻井 典之
監事 村上 裕章

★決議事項

第1号議案 新代議員選任（3名）の件

沼上会長から、松本慧一氏（SP19）、沖山悠太（SC19）および梅川恵美氏（SB19）の新代議員3名の提案があり、審議し、選任された。

第2号議案 平成28年度事業計画案

千葉副会長から平成28年度事業計画案について説明が行われた。

第3号議案 平成28年度予算案の件

須貝副会長から平成28年度予算案に沿って説明が行われた。

第2号議案及び第3号議案の説明後、全会一致で平成28年度事業計画案及び収支予算案が承認された。

出席者：44名（第1号議案の3名を含む）；長原勝彦（HC1）、坂口洋（HC2）、櫻井典之（HC2）、竹澤美男（HC4）、中野勝雄（HC5）、沼上清彦（HC6）、小沼和久（HC6）、麻生綱男（HC8）、蓮沼良一（HC11）、國香清（HC11）、氏家重夫（HC12）、島崎道広（HC12）、藤本玲子（HC12）、内田宏（HC14）、森孝之（HC14）、伏見尚登（HC16）、須貝昭彦（HC18）、田所順一（HC19）、八井田文子（HC19）、甲斐恒人（HC20）、木村武俊（HB1）、佐藤康之（HC28）、千葉貴子（HC28）、渡辺知広（HC30）、前川敏郎（HB4）、村上裕章（HC31）、福山勝也（HC31）、篠川裕子（HB5）、石原稔（HC32）、桑原美保子（SP1）、酒井利奈（SP1）、中野章代（SC3）、田村啓（SB4）、松本俊英（SP8）、富澤良弘（SC10）、齋藤昂良（SB10）、菅谷大地（SB10）、曾根靖人（SC11）、上村和豊（SB13）、逸見拓谷（SC17）、小田本実佳（SB17）、松本慧一（SP19）、沖山悠（SC19）、梅川恵美（SB19）

委任状提出者：41名；小池惇平（HC1）、西尾公男（HC3）、石原裕三（HC7）、石川一郎（HC9）、石水和田（HC10）、衣川佳美（HC13）、山田淳（HC17）、山下宣行（HC23）、椎名文乃（HC24）、櫛部一彦（HC26）、竹尾文彦（HC26）、長谷部浩司（HC27）、伊藤昌史（HB1）、嶋宮民安（HB3）、秋本護（HB4）、井村幸介（HB6）、中條総子（SC1）、吉瀬晴子（SB1）、河合匡（SC2）、江島史緒（SB2）、矢野太一（SC3）、小林琢也（SB3）、小林麻友（SP4）、藤井祐介（SC4）、吉本真紀子（SB4）、大西新（SP5）、田辺由美子（SC5）、三浦慎一郎（SB5）、東海林周平（SC6）、佐々木千明（SB6）、大滝正訓（SP7）、千ヶ崎裕介（SC7）、吉野成嗣（SB7）、小野憲司（SP8）、森口友敬（SB8）、田草川英昇（SP9）、岡田絵真（SB9）、石毛達也（SB12）、高嵩美文（SP13）、山神廉弥（SP18）、三田一帆（SB18）

欠席者：32名；星名達行（HC15）、立松佐吉（HC18）、飯島宏（HC20）、鈴木芳弘（HC21）、小泉博之（HC22）、小笠原正勝（HC25）、坂内健志（HB2）、吉田奈美（HC29）、矢口晶（HB4）、平山幸司（SP2）、山本あゆみ（SP3）、國廣喜央司（SP6）、武者孔佑（SP7）、鈴木健太郎（SC8）、荒木恒平（SC9）、今村敦（SP10）、小林宣文（SP11）、露木早紀（SB11）、奥田悠介（SP12）、上村勇介（SC12）、厚木将志（SC13）、保住厚兵（SP14）、神田章宏（SC14）、新山勇人（SB14）、杉本愛（SP15）、田中雅史（SC15）、新井慧（SB15）、南川晴紀（SP16）、川崎貴之（SC16）、藤川圭太（SB16）、長谷川祐紀（SP17）、新美恭（SC18） ※太字は住所不明

<第1号議案終了後、総会構成員数は117名>

1. 開会の挨拶

司会の蓮沼理事（HC11）から、規約第15条第2項に規定する総会構成員数114名に対して1/3以上が出席し、所定の定足数に達した旨を述べ、定期総会の成立することが報告され、開会を宣言した。

2. 議長団の選出

議長に石原代議員（HC32）、副議長に島崎理事（HC12）、議事録署名人に桑原代議員（SP1）、中野理事（SC3）が全会一致で承認された。

3. 沼上同窓会会長挨拶

沼上会長（HC6）から、平素の同窓会活動への理解と協力に加え、今期の重点目標である本会担当の第51回北里大学同窓会講演会を成功させ、達成できたことに対して感謝が述べられた。

また、本年度の運営方針や会員の52%が理学部卒業生になったことを機に役員の世代交代や新しい事業形態を構築する必要性などについて述べられた。

続いて大学、理学部および本会の現況についてそれぞれ説明があった。

4. 報告および決議事項

★報告事項

1) 平成27年度事業報告および平成27年度収支決算報告の件

千葉事業担当副会長（HC28）から平成27年度事業報告を、また須貝財務担当副会長（HC18）から平成27年度収支決算書に沿ってそれぞれ報告した。

2) 監査報告の件

村上監事（HC31）から、平成27年度の監査結果が正確かつ妥当

平成28年度事業計画

- 1 会報の発行
同窓会報第20号（通算46号）を平成29年1月に発行する。
- 2 学部教職員との懇談会の開催
学部教職員との懇談会を平成28年7月2日（土）に開催する。
- 3 会員集会援助の継続
同窓生が同期会等を開催する際、200名までは1名あたり200円を、201名以上は1名あたり100円を援助する。ただし、同一趣旨の会への援助は年1回までとする。
- 4 ホームページの更新
新しい情報を会員へ提供するため、ホームページを随時更新する。
1) SNSでの情報提供に関して検討する。
2) 同期会開催のお知らせなどの掲載について
集会援助申請があったものや開催予定でHPに掲載を希望する案件について、HP上に掲載するサービスを検討する。
- 5 会員情報の管理
本会の個人情報保護方針に即して、北里大学同窓会と連携しながら会員情報を管理・運営する。なお、会員集会援助に伴うDM用タックシールおよび当該名簿一覧表は継続的に提供する。
- 6 第22回就職ガイダンスの開催（平成28年度理学部就職ガイダンス開催への共催）
平成28年10月22日（土）に理学部3年生を対象とした就職ガイダンスを理学部と共催する。
- 7 北里大学同窓会公開講演会への協力
平成29年3月12日（日）に開催される北里大学同窓会公開講演会（医療衛生学部同窓会担当）に協力する。
- 8 学部への寄贈
寄贈物品：50万円相当の物品を寄贈する。
寄贈図書：10万円相当の学生（準会員）利用図書を学部図書館へ寄贈する。
- 9 第11回「卒業研究功労賞」の表彰
卒業研究において学生の取りまとめ等、秀でた活動を行った学生に対して卒業研究功労賞を授与する。
- 10 準会員事業への協力（卒業記念パーティー）
卒業記念パーティーに祝い金を持参する。
- 11 その他

平成28年度収支予算

平成28年4月1日 至平成29年3月31日

収入の部	(単位：円)		
費目	① 平成28年度	② 平成27年度	増減(①-②)
学部還元金	5,268,000	5,285,000	△ 17,000
年会費	300,000	300,000	0
会報送料補助	383,000	372,000	11,000
利子	3,000	3,000	0
前年度事業資金	250,000	0	250,000
雑収入	0	0	0
積立金戻入	500,000	700,000	△ 200,000
前年度繰越金	683,278	1,432,061	△ 748,783
合計	7,387,278	8,092,061	△ 704,783

支出の部 (単位：円)

分類	費目	平成28年度	平成27年度	増減(①-②)
運営費	会議費	1,000,000	1,650,000	1,650,000
	総理事会費	500,000		
	委員会費	150,000		
	事務局費	1,350,000		
	事務人件費	50,000		
	通信費	300,000	1,730,000	1,730,000
	物件費	30,000		
	雑費	200,000		
	慶弔費	100,000	300,000	300,000
	交際費			
事業費	集会援助費		200,000	200,000
	会報発行		1,350,000	1,350,000
	就職ガイダンス		600,000	550,000
	懇談会費		250,000	250,000
	図書	100,000	100,000	0
	物品	500,000	0	500,000
	講演会費		100,000	100,000
	担当手当		240,000	240,000
	卒業研究功労賞		50,000	50,000
	ホームページ		0	0
カミングホーム		0	0	
予備費	準会員支援		150,000	150,000
	卒業祝賀会協賛金		0	0
	Kitasato100x50		0	1,000,000
	寄付		0	△ 1,000,000
	積立金		0	0
	次年度用事業資金		0	250,000
	△ 250,000			△ 250,000
	予備費		167,278	222,061
	△ 54,783			△ 54,783
	合計		7,387,278	8,092,061

報告及び決議事項がそれぞれ承認後、森 代議員（HC14）から質問があり、沼上会長から以下の回答がありました。

【質問】 事業報告にある（例えば就職ガイダンス部分）「適切かつ唆に富んだ講評」とは具体的にどのようなものかなど、幾つかの表現部分について意見があった。

【回答】 沼上会長から、就職ガイダンスについては、学部事務室が参加学生へアンケート調査を実施し、講評の有用性を数字で報告しており、根拠に基づいたものであるが、表現として適切性に欠けているので、今後は見直しを図る旨の回答があった。

議長団の解任および閉会の辞

連沼理事から、議事の終了が宣言され、議長団が解任された後、閉会を宣言した。

総会終了後、真崎学部長、菅原物理学科長、丑田化学科長、高松生物科学科長、米田就職指導委員長が出席されました。今年、学部から「理学部説明会の資料」、「理学部パンフレット」、「お箸」そして周期律表の「クリアファイル」などが総会出席者に配付され、理学部説明会資料をもとに学部・各学科・就職などの近況報告を頂きました。

その後、理学部校舎前にて先生方と記念撮影を行ない、懇親会場のドミトリー2階喫茶室に移動し、学部の先生方を交えて総会出席者が和やかに歓談し、交流を深めました（総務担当記）。

※平成29年度理学部同窓会定期総会開催予告

平成29年5月20日（土）、午後12時45分から相模原キャンパスS号館（理学部校舎）3階 セミナー室で開催、懇親会をドミトリー2階喫茶室に於いて開催予定。

詳しくは同窓会HPに記載予定です。

平成29年度年会費納入のお願い

本会活動のより活発な活動の為に平成29年度会費の納入をお願いします。

年会費：3,000円

納入方法：1) 他の金融機関から「ゆうちょ銀行」に振り込む場合

■ 銀行名 ゆうちょ銀行 ■ 金融機関コード 9900 ■ 店番 029
■ 預金種目 当座 ■ 店名 ○二九店（ゼロニキユウ店） ■ 口座番号 0060155

2) 郵便振替の場合：

■ 口座番号： 00260-9-60155 ■ 加入者番号：北里大学理学部同窓会

★お知らせ★

本会会員同士で結婚されている場合の年会費は、お二人で1名分になります。

年会費納入時に振込用紙の通信欄にご夫婦である旨と、氏名および卒業年、学科を必ず記入して下さい。

卒業研究功労賞

平成28年3月23日(水)、ヒルトン東京において北里大学理学部卒業パーティーが開催され、本学会長より第10回卒業研究功労賞の表彰が行われました。

『卒業研究で感じたこと』

SP19 北沢美紗紀

4月1日、先生に呼び出されてフォトニクスに行ったとき、4年生はどのような1年になるのかワクワクしていたのが懐かしいです。

「将来、教員になって物理を教えたい、そのために専門的な知識をつけたい」という理由から物理学科に進学したものの、北里の物理科はイメージしたものと違っていました。その中でもやはり物理っぽいものが好きだったので、卒業研究はフォトニクス講座の黒田圭司先生のもとで行いました。

4年生は卒業研究一筋!とはいかず、教員採用試験や教育実習など研究以外にもやることが多く忙しい1年でした。卒業研

究をすぐに始められるわけでもなく、基礎知識や原理の理解に多くの時間がかかりました。先生の説明を聞いたり、調べたりして理解したつもりでも、自分の言葉で説明することは難しく、まだ理解できていないことがたくさんあるのだと感じました。ですが1つのことについて深く考え、追求することはないので、大変でしたが楽しかったです。

現在は夢を叶え、地元の高校で物理を教えています。卒研のときと同じく、自分はわかっていると思っても、授業をしてみると「あれ?」となることもあります。これからもっと勉強して、自分らしい授業を追求していきます。



就職ガイダンス

平成28年10月22日(土)、L1号館31講義室において、理学部3年生と修士課程1年生を対象とした第22回就職ガイダンスが開催され、講演と集団模擬面接が行われました。

就職講演

『分析メーカーの営業』

ブルカー・バイオスピン株式会社 加藤賢一氏 (SP08)

履歴書・自己紹介書(エントリーシート)の解説講座、模擬面接、講評

シミック・アッシュフィールド株式会社

人財開発本部マネージャー 藤田嘉一氏 (HC17)

HRBC株式会社 コンサルトマネージャー

茅田素子氏、武知昭代氏



『模擬面接に参加して』

化学科3年 山本 華代

私は今回模擬面接をやらせていただき、早い段階で就職の選考の雰囲気を感じることができて良かったと感じています。

選考がどのようなものか分からなかった私は就活に向けて何をすればいいのかも分からず、ただただ不安を感じていただけでした。しかし模擬面接をやってみて、今の自分に足りないものは何なのか掴むことができました。模擬面接の最中は、笑顔で受け答えしようと思っただけでも実際は緊張で無表情になってしまい、他の方の受け答えが完璧に見えてしまったりしましたが、本番ではなく練習の段階で自分の弱点を知ることができ、克服する時間とチャンスが十分にあることに安心しました。

先日、インターンシップの選考でグループディスカッションを行う機会がありましたが、人前で意見を一人ひとり発表する場面ではやはり緊張しました。そんな時に大勢の理学部生の前で模擬面接をしたことを思い出しながら、最後まで無事にやりることができました。面接の雰囲気を知れたことはもちろんですが、大勢の前で面接の練習をするという貴重な体験が、自分を精神的にも成長させてくれたと感じています。

これから本格化していく就活活動に向けて、模擬面接というとてもいい機会を与えていただいたことに感謝しています。この経験を活かし、今後の学生生活や就活に奮闘していきたいです。

『模擬面接に参加して得たこと』

修士1年 菊池 夏実

私は今回の就職ガイダンスで、模擬面接に参加させていただきました。面接はおろか、エントリーシートを真剣に書くのも初めてだったため、面接の前から不安や緊張でいっぱいでした。しかし、今回のガイダンスを機に、より早く就職活動を意識することができたので、参加させていただいたことに深く感謝しております。

模擬面接のときは、面接官の後ろにいる大勢の人たちが全く気にならないほど緊張しました。また、回答順がトップバッターだったため、問われたらすぐ答えなければならず、グループ面接でしたが個人面接も同時に受けているような感覚でした。ある程度、質問内容は予想して回答も準備していましたが、想定外の質問が来た時、すごく焦ってしまいました。やはり面接時の質問と回答の引き出しは十分に用意しておく必要があると痛感しました。

面接後には、全体の講評と、個人的なアドバイスをいただきました。実際に面接官をされている方から、このように一対一でフィードバックをしていただける機会はなかなか無いことなので、非常に参考になることばかりでした。今後の就活にぜひ活かしていきたいと思います。このような機会を与えていただき、本当にありがとうございました。

活躍する同窓生

『アロハ精神で叡智と実践』

SB13 ロイド雪絵ミシェール

理学部生物科学科13期のロイド雪絵ミシェールです。毎日往復2時間かけて通学し、テスト前にはS号館の共用スペースで友人たちと遅くまで勉強していたことが今でも思い出されます。2010年に卒業後、学部4年次の外研先であった東京大学医科学研究所の三宅健介先生の研究室に所属し修士課程に入学しました。研究のテクニックや研究者としての基礎を学んだ後、熱帯感染症の研究がしたかった私は修士課程2年目の夏から、皇太子明仁親王奨学金の奨学生としてハワイ大学大学院に入学し、付属の熱帯医学研究所で研究をすることとなりました。この奨学金は、学費、生活費や渡航費を頂けるだけではなく、天皇皇后両陛下に御所で拝謁する機会が与えられ、自身の研究内容について両陛下へ紹介させて頂きました。駐日米大使にも面会し激励を受け、私は意気込んでハワイへ飛び立ちました。ところが、環境の違いに加え日本での受身な授業スタイルに慣れていた私は、授業のスピードと専門用語が飛び交うディスカッションに愕然とし、幼少期に海外生活をして培った英語に対する自信も見事に砕け散りました。2年半必死で食らいつき、 Deng 熱の研究で2014年に修士号を取得できましたが、その間には全米ウイルス学会や微生物学会で最優秀ポスター賞を受賞することができ、研究内容は近々論文として世に出る予定です。自身の希望と研究科長からの勧めもあり、現在はマラリア研究室に所属しています。30年以上にわたりマラリアについてアフリカと共同研究を行ってきた女性教授の元で研究者として働きながら、来年には博士号を取得できる見込みです。博士課程入学後は、ワクチン接種への理解を促す学生団体を創設し、州政府の協力の元でワクチン推進キャンペーンを行っているほか、全米微生物学会ハワイ支部の会長を拝命し、今年の世界マラリアデーのイベント企画をするなど、アクティブに活動しています。奨励賞や総長賞、UCパーク

レー校と競う Soroptimist Founder Region Fellowship などの受賞は、研究者としての自信に繋がりました。

私の意識を大きく変えた出来事が2ヶ月間研究で訪れたカメルーンでありました。米国保健衛生局 (NIH) のプログラムに日本の民間団体と Sigma Xi Research Grant から助成金を得ながら参加し、水不足や停電など日本やハワイとは全く異なる環境と格闘しつつ研究を行いました。現地では教科書や論文で学んだ状況と矛盾することが多く、毎日新たなことを体感し、学びました。滞在中に運転手さんから聞いた経験談や、小児病院の前で赤ちゃんをマラリアで亡くした母親たちの悲痛な声を毎日のように聞いたことで、それまで漠然としていた研究の意義を強く実感しました。それに加え、現地の研究者や学生を訓練することにより、アフリカの国々が先進国に頼ることなく自国の問題を解決できるサステナブルな研究にも魅力を感じ、現地と共同研究などのやり取りを続けています。

ラボで実験するだけではなく、実際に苦しんでいる人と対話しながら地域や社会に貢献したいと願う私にとって、幸いな事にハワイ大学にはその環境がそろっています。日本とは異なり世界的に有名な研究者達との距離も非常に近いので、よく先生方の「武勇伝」を聞きに行きます。私は分野や国境を越えた多くのメンターに恵まれています。その秘訣を結びとしたいと思います。できるだけ多くの先輩、先生方と話す機会を作ってください。分野が違って、人生におけるいいアドバイスをもらえるはず。そして是非色々なことにチャレンジしてください。海外に出ることだけがチャレンジではありませんが、言葉の壁や文化の壁を乗り越えて何かを成し遂げることでかけがえのない経験を得られます。You only live once, be ambitious!



近況報告バトンタッチ

『現役を過ぎたOBの近況報告』

HC2 櫻井 典子
(旧姓：池田)

北里大学衛生学部化学科を卒業してはや半世紀がたちました。在学中に東京オリンピックがあり、高度成長期に化学分野ではなく、病院の検査技師として横浜赤十字病院に就職し、医療の分野に足を踏み入れました。大学では化学を専門に学び、医療については門外漢で、現在の自動化された検査とは異なり、当時はすべてマニュアルで機械化は開発途上でした。大学で学んだ実験などで検査はこなせるのですが、結果を読み取るなどは疑問だらけで、このままではと考へ、また北里衛生科学専門学(夜間)に入学しました。

検査技師を目指して昼間は病院で検査を、夜間には検査を含めた医療について学ぶ生活を2年半送りました。卒業1年前頃に血液の非常勤講師をしていた神奈川県立衛生短期大学の鈴木弘文先生から話を頂き、血液学の助手になりました。その後講師になり、血液の講義・実習を担当し、化学から医療の世界に軸足を変えて38年間過ごしました。その後神奈川県の方針で県が短期大学を閉校し、横須賀に神奈川県立保健福祉大学を開学しました。そこには臨床検査の学科はなく、福祉分野などの研究に方向を変え、7年間過ごし退官しました。

人生の半分以上を大学と狭い中で過ごしてきたうえで、退官後も非常勤で血液学を週2回教える以外は毎日が日曜日に近い日々でした。このままのんびりと日が過ぎていくのもよいのかと思っていたところ、知り合いから配食のボランティアに誘われました。月2回、高齢者の方に弁当を作り、配達するグループに入り、6年になります。また、非常勤講師が週1回になったところ、町内会の役員の誘いを受け、長寿会、子供会の手伝い、子供たちの居場所づくりなどの活動を現在まで行っています。

私が今、属している配食サービスは月8回(火、金曜日)、写真のような弁当を調理し、見守りかねて手渡しで配達をしています。調理、配達と月1回から2回の活動で調理、配達を合わせて約200人のボランティアからなる大きな団体です。利用者は65歳以上の食事作りが難しい方々で毎食65~70食を作っています。ボランティアの会員は40歳代から一番高齢の方は89歳です。ま

た、町内会でも配食サービスを行っており、高齢者の方対象に月1回の弁当を届けています。こちらは13名のボランティアで、毎回約30食を作っています。その他、町内会で色々な活動を行っており、7月の夏祭り、12月の餅つき、長寿会の支援による食事会、およびコンサートなどを開催しています。子供会ではそば打ち体験や、ジャガイモ堀、そして焼きいも大会などを行っています。

退官するまではご近所の方とは挨拶程度のお付き合いでしたが、配食、町内会の役員などに関わっているおかげで、知り合いが増え、暑気払い、忘年会、女子会(高齢ですが、女子会です)とお付き合いの範囲が広がり、楽しんでいます。

これまでの会報の“近況”では色々な分野で活躍されていることが書かれていますが、卒業して50年、同期生はすべて72歳以上になり、まだ現役で働いている方もいますが、ほとんどの方は引退し、毎日が日曜日の方や、町内会で活躍したり、ボランティアに意義を見出したりと様々です。現役の頃とは時間の過ごし方も大きく異なり、決まった時間、場所に勤務するのではなく、今日の午前中は地区センター、午後は町内会館で話し合い、と細切れの時間を過ごしています。70の大台を超えてから記憶力も、体力も衰えてきましたが、地域の中で少しでも活動できることを感謝して毎日を過ごしています。また週1回の非常勤講師は新しい知見等を学生に学んでもらいたいので専門雑誌等も読み、地域での活動とは異なった刺激を受けています。以上で現役を過ぎたOBの一人の近況報告とさせていただきます。

次のバトンは衛生学部化学科3回生の今井利夫さんにお渡しします。



近況報告バトンタッチ

『救急災害現場と月見草』

SP1 福島 芳範

富士には月見草がよく似合うー。

恥ずかしながら、私は大学生の頃まで、この句はどこかの旅行会社が観光客を呼び込むために作ったキャッチコピーだと思い込んでいた。あまつさえ、どこか旅心を掻き立てるその秀逸な出来栄に感心すらしていた。この言葉が、太宰治の短編小説「富嶽百景」の作中に書かれた文章だと知ったのは、社会人になってからの事だった。そして、その心情に触れた気がしたのは最近のことである。

*

私は大学卒業後、IT関連企業に就職した。

「企業の社会的責任とは利益追求だけである」と言い切った経済学者のミルトン・フリードマンはいささか極端であったのかもしれないが、営利企業にとっての根幹が利潤追求であることには疑念を挟む余地がない。自身の良心と組織の目的が合致する仕事をしたいー、そう思って2年間勤めた会社を退職し、東京消防庁に入庁した。

消防業務の根幹は、明快かつシンプルである。「国民の生命、身体及び財産を守ること。」しかしその単純明快な存在理由とは裏腹に、その目的を達成するため多種多様な部隊が必要となる。私は入庁後、消防隊、指揮隊、消防救助機動部隊（ハイパーレスキュー隊）などの部隊を経て、現在は玉川消防署で救急隊長の任についている。

*

東京消防庁に入庁してから、私は「救急救命士」という資格を取得した。救急救命士は救急災害現場において、気管挿管や輸液を実施したり、心停止時のアドレナリン投与や低血糖発作時のブドウ糖投与が可能となる国家資格である。かつて本邦では、「医師でなければ、医業をしてはならない。」という医師法17条の規定により、救急隊は現場で医行為を行うことができなかった。しかし世論の後押しを受け、1991年に救急救命士法が制定され、救急隊による救急救命処置が可能となった。

救急救命士として救急災害現場での勤務を続けているうちに、救急救命士は医療職でありながら、学術的な側面が未成熟であることに気がついた。病院前救護に関する研究は、現場に臨場することのない医師がその中心を担っており、救急救命士による研究はごく一部に留まっている。研究活動の沈滞と相まって、病院前救護についての学問体系も大成されているとは言い難い。資格制度創設からの歴史が浅い事もあるだろうが、医療職である救急救命士にとって、臨床と学術は車の両輪であるべきではなからうか。北里大学の校訓、“Sophia kai Ergon”（叡智と実践）にあるように、学識に裏付けられた叡智を実践することこそ医療職の本懐、これに過ぐるものがあるだろうか。斯様に考えた私は、救急災害現場における勤務を続けながら、社会人大学院生として学んでいくことを考えた。

*

平成23年4月に、国土舘大学大学院救急システム研究科救急システム専攻修士課程（1年制）に入学し、病院外心停止の生存率に影響を与える因子について研究を行った。1年間で修士論文を仕上げるという過密なスケジュールの中で、博士課程への進路を模索し始めた。そもそも救急救命士が大学院に行くこと自体一般的ではなく、修士課程へ進学する救急救命士ですらごく僅か、博士課程へ進む救急救命士に至っては聞いたことが無かった。当時、救急救命士が学ぶために用意された大学院博士課程は存在していなかったため、医学研究科へ進学する方法を考えた。医学研究科は公衆衛生学や解剖学等からなる基礎系専攻と、循環器内科学や脳神経外科学等からなる臨床系専攻の二つに分かれるが、臨床系専攻は出願資格として医師免許を必要とする大学院がほとんどであった。せっかく学ぶなら救急医学を学びたい、しかし救急医学は臨床系専攻となるから医師免許が必要となる。その中で唯一、順天堂大学大学院は学問を志す全ての人に門戸を開くというポリシーのもと、出身大学や学部を問わず大学院生を募集しているとのことだった。こうして私は順天堂大学大学院を受験し、平成24年4月に同大学院医学研究科救急災害医学博士課程（4年制）に入学した。順天堂大学大学院では、院内急変対応時におけるチームワークと自律神経反応の関係を研究し本年3月に同課程を修了、博士号を取得した。

*

他の医療職と比し、救急救命士の学術的側面が未成熟である状況は今も変わらない。私が行ってきたささやかな取り組みは、病院前救護という広大な裾野を持つこの分野に対して何の影響も与えなかったことは論を俟たない。それはあたかも、富士山と対比された月見草の如くちっぽけな出来事と思う。それでも月見草のようにささやかな花を、病院前救護の分野に添えることができれば僥倖である。

*

本稿執筆の機会を下さった、物理学科1期生同級生の池沢聡くに感謝いたします。またこのバトンを物理学科卒業生の松本俊英さんに託します。



近況報告バトンタッチ

SB6 村岡 大輔

理学部生物科学科6期生の村岡大輔と申します。この度、同期の木村健太くんよりバトンを受け、近況報告をさせていただくことになりました。宜しくお願ひ致します。

私は、2003年に北里大学の理学部を卒業し、神戸大学大学院医学系研究科などを経て創薬ベンチャー企業である株式会社イミュノフロンティアに就職しました。その後、在職中に三重大学大学院医学系研究科の社会人コースにて博士号を取得し、2014年からは同大学のがんワクチン治療学講座にて助教として、そして2016年からは静岡県立大学の創薬探索センターの助教として研究生活を送っています。

北里大学4年時には花岡和則先生の研究室にお世話になり聖マリアンナ医科大学 解剖学教室の金子律子助教授のご指導の下、神経発生研究に携わっておりました。その後、就職を転機として、がん免疫療法の研究開発に従事しており、今回は後者についての研究をご紹介します。

私の研究対象であるがんは皆さんもご存じの様に、日本における死因の第一位を占めている社会的な病気の一つです。治療法は、外科的手術、放射線治療、化学療法(抗がん剤など)が一般的ですが、近年これらに加え最も注目を集めているのが、生体内の免疫を活性化しがんの駆逐を目指す治療法である「がん免疫療法」です。当治療法は生体内における免疫反応を応用することで、副作用を軽減し治療効果を長時間持続させることが期待されています。免疫反応は、私たちの体内に侵入した細菌やウイルスなどの不要な異物を排除する為に備わったシステムで、様々な種類の免疫細胞が担っており、これらの免疫細胞の中のがん免疫療法に最も重要であるとされているのが、がん細胞を直接認識し殺傷するキラーT細胞です。多くのがん免疫療法は当細胞を活性化することを目的として創意工夫されています。

私が、当分野に私が携わるキッカケとなったのは、イミュノフロンティアの研究員として、当時開発中であったがんワクチンのFDA(米食品医薬品局)申請に必要な薬理試験データの収集を行ったことです。始めた当時は、神経発生学分野からがん免疫分野へ飛び込んで間もないこともあり、インターフェロンやT細胞などの基本的な用語の理解も追いつかず苦労しましたが、北里大学在学時に学んだ、研究をするのは楽しく幸せであると

いう思いを変わらず持つことができ、それが支えになったのを良く覚えています。その後、三重大学では、がんワクチンの研究に携わると共に、がんに対する免疫反応が効率的に誘導されない分子基盤の解明などの研究を行いました。そして、現在はこれらの経験を基に静岡県立大学の薬学部にて大学発のがん治療薬の開発を目指し日々研究を行っています。また、薬学部の教員としての教育業務が増え、薬学研究者や薬剤師を目指す若い学生と接する機会が増えました。学生からは日々刺激を受けており、北里在学時の出来事を思い返すことが増えた気がします。このような学生達を立派に育て上げ社会へと送り出すこともこれからの楽しみの一つです。今後も、在学時に学び経験したことを糧に、新しい知見を開拓し新しい人材と出会い育てていながら、研究生活を楽しんでいければと思っています。

私生活では、9年前に同じ北里大学理学部生物科学科6期生の(旧姓)松原美和さんと結婚しました。二人の娘に生まれ、家族4人で賑やかな雰囲気の中で過ごしています。小学2年生の娘が研究者になりたいと言い始めたのが嬉しく、また、この業界の厳しさや難しさを知っている分複雑な心境でもあります。次女は5歳となりましたが、まだまだ幼さを残しており、家内共々癒されています。軒並みですが、子供には日々親にして貰っている毎日です。

次のバトンは、生物科学科で共に学んだ石澤洋平君に渡したいと思います。



同期会報告

1966年入学の衛生学部化学科の皆さん、今年は10月21日(土)です

HC5 中野 勝雄

昨年、出席者から来年の日程を決めたら良いとの事で席上で決めました。同期会の予定を入れて頂きたいと思います。

熊本地震では、シンボルの熊本城に甚大な被害が出て、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と一日



も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

今年も同期会にはたくさんの出席をお待ちしております。幹事一同、心から願っております。

<平成27年・28年同期会報告>

平成27年は、学んだ芝白金三光町から神田明神そばの閑静な佇まいの館で開催した。ノーベル医学・生理学賞を受賞した大村智先生の許で卒業論文実習先の一つであった(社)北里研究所秦研究室で指導して頂いていた事を誇りに思います。先生がNHKクローズアップ現代で放映された際に北里三奇人(変人?)について、話された事が話題になった。

いつも研究室・実験室ではお世話になっている試薬メーカーに就職されて、北の大地から。また、文化会の活動ではハイアンクラブで活躍していた旧友も出席してくれて嬉しく思いました。

平成28年は、天候に恵まれ10月とは思えない9月中旬から下旬の大変暑い気温でした。江戸時代に大川と呼ばれていた隅田川の浅草・柳橋で隅田川を望み、画家・平山郁夫の作品シルクロードが掲げられている部屋でミニ会席を堪能した。今年では2年次に進級する際、十和田の畜産学部へと進学した旧友とも再会し、1年次の話題に戻りつつ時間を惜しみ、次回の再会を約し散会した。

衛生学部化学科6期生 同期会開催

HC6 小沼 和久

去る11月5日に衛生学部化学科6期生の同期会を2期生の木津秀幸氏のお店である渋谷のイタリアンレストラン「ベルマーレ」にて開催し、昨年より若干多い24名の参加がありました。毎年開催を始めて5年目でまんねり状態を危惧致しておりましたが、卒後45周年と節目の年を迎え盛大?に開催することが出来たのではないかと考えています。

今年、初参加の方もおられました。学生当時に懐かしみ楽しんでおられたようです。昨年は、ノーベル賞受賞の大村先生の話で盛り上がりましたが、今年は、歳相応に病気の話や孫の話で楽しいひとときを過ごせた様に思います。残念ながら5時



半にお開きとなり、2次会へと席を移して8時に名残惜しくも散会となりました。後日談ですが、3次会は女性同士でコーヒープレイクだったとのことでした。

来年も元気で皆様に再会出来ることを楽しみにしています。

集会援助手続

理学部同窓会会員集会援助をご利用ください

【集会責任者】

- (1) 集会援助申請書類の入手
(事務局に問合せ、又はHPからダウンロード)
① 会員管理システム利用申請書
② 集会援助金申請書
- (2) 申請書①に責任者3名の署名・捺印
- (3) 申請書①の提出(事務局へ持参、又は郵送)
集会の2ヶ月前
- (4) 集会開催 ※
- (5) 申請書②および③訂正された会員データを提出
(事務局へ持参、または郵送)
集会の後2ヶ月以内
- (6) 集会の様子を原稿にして同窓会にご連絡ください! (任意)

【理学部同窓会・事務局】

- 事務局の連絡先
〒252-0373 相模原市南区北里1-15-1
TEL/FAX 042-778-9032
E-mail info@kitasato-rigaku-d.jp
ホームページ
http://kitasato-rigaku-d.jp http://北里大学理学部同窓会.jp
- 本会理事会での承認
- 申請のあった名簿一覧と郵送用タックシールの作成・提供
- ②、③を確認後、集会援助金を助成
(案内状印刷・郵送費として、200人までの集会では¥200/人、201人から¥100/人)

※援助を受けられる集会

- ① 同期会
- ② 参加者の60%以上が本会正会員で構成される30人以上の集会
- ③ 医療衛生学部同窓会会員と合同で開催し、参加者の30%以上が本会正会員で構成される30人以上の集会

【同期会や研究室の同窓会を開催予定の方へ】

同窓会では、正会員が同期会や研究室の同窓会を開催される場合に援助をする事業を行っていますが、今後集会援助の申請が承認された時点で本会ホームページへ掲載するサービスを始める予定にしています。また、集会援助を使わない場合でも、同期会を行うに当たって本会ホームページへの掲載の要望があれば掲載することも検討しています。詳しくはホームページ上でお知らせいたします。是非ご活用下さい。

理学部事務室より

● 平成29年オープンキャンパス 開催情報（予定）

- 第1回：平成29年3月19日(日)
 第2回：平成29年8月5日(土)、6日(日)
 第3回：平成29年8月27日(日)

● 平成29年度進学相談会 開催情報（予定）

- 第1回：平成29年10月1日(日)
 第2回：平成29年11月4日(土)、5日(日)
 11月4日(土)、5日(日)は北里祭が同時開催されます。
 オープンキャンパス、進学相談会ともに理学部S号館内では、各研究室、実験室を開放し様々な展示及び体験型実験教室を開催しております。是非お訪ねください。
 なお、理学部入試の過去問題、パンフレット等の頒布を行っております。詳細は北里大学ホームページ (<http://www.kitasato-u.ac.jp/>) をご覧ください。

● Web出願が始まりました。

2017（平成29）年度入試よりPC、スマートフォン、タブレット等を利用した、Webからの出願が始まりました。「紙の願書（入学志願票）」、「募集要項」はありません。

入学検定料についてはコンビニエンスストア、インターネットバンキング、クレジットカードなどで24時間の入金が可能となりました。

詳細は北里大学ホームページ (<http://www.kitasato-u.ac.jp/>) をご覧ください。

● 求人情報をお寄せください

本学部の就職状況については、理学部同窓会のご支援もあり、毎年100%近い就職率を維持しておりますが、昨今の経済状況を鑑みると決して楽観出来る状況ではありません。学生たちは学業の傍ら、厳しい就職活動をくぐり抜けなくてはなりません。そこで、同窓会の皆様におかれましては、益々のご支援、ご協力を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

求人票の学生への周知や、学内での企業説明会のご要望などを随時承っております。

お問い合わせ先

理学部入試に関すること

T E L 042 (778) 9172 (入試係直通)

F A X 042 (778) 9953

就職に関すること

T E L 042 (778) 8545 (学生係直通)

F A X 042 (778) 9953

大学院入試に関すること (理学研究科入試係直通)

T E L 042 (778) 9083

F A X 042 (778) 9953

平成30年度 理学部入学試験日程 (予定)

平成30年度（平成29年度実施）入学試験日程は以下のとおりとなっています。

理学部では、生命科学の基礎分野で研究力を身につけた人材を社会に送り出すことを使命とし、充実した教育・研究を実施しています。これらの使命をさらに発展させていくため、北里大学理学部の志を受け継いだ同窓生のご子弟の方々の入学をお待ちしております。

公募制推薦	募集人員	物理学科 4名 化学科 10名 生物科学科 13名		
	試験日	平成29年11月26日(日)	試験場	相模原キャンパス
	受付期間	平成29年11月1日(水)～平成29年11月17日(金)		
	合格発表日時	平成29年12月1日(金) 13時 合否照会システム		
指定校推薦	募集人員	生物科学科 7名		
	試験日	平成29年11月26日(日)	試験場	相模原キャンパス
	受付期間	平成29年11月1日(水)～平成29年11月17日(金)		
	合格発表日時	平成29年12月1日(金) 13時 合否照会システム		
一 般	募集人員	物理学科 24名 化学科 55名 生物科学科 38名		
	試験日	平成30年2月2日(金)	試験場(3会場)	相模原キャンパス・大阪会場・仙台会場
	受付期間	平成29年12月15日(金)～平成30年1月22日(月)		
	合格発表日時	平成30年2月9日(金) 13時 合否照会システム		
センター試験利用(前期)	募集人員	物理学科 12名 化学科 10名 生物科学科 17名		
	試験日	平成30年1月13日(土)・14日(日) (大学入試センター試験)		
	受付期間	平成29年12月15日(金)～平成30年1月12日(金)		
	合格発表日時	平成30年2月9日(金) 13時 合否照会システム		
センター試験利用(中期)	募集人員	物理学科 10名		
	試験日	平成30年1月13日(土)・14日(日) (大学入試センター試験)		
	受付期間	平成29年12月15日(金)～平成30年2月5日(月)		
	合格発表日時	平成30年2月21日(水) 13時 合否照会システム		
センター試験利用(後期)	募集人員	物理学科 3名 化学科 5名 生物科学科 5名		
	試験日 (本学部の課す個別試験)	平成30年3月1日(木)	試験場	相模原キャンパス
	受付期間	平成30年2月13日(火)～平成30年2月21日(水)		
	合格発表日時	平成30年3月7日(水) 13時 合否照会システム		

【就職情報・求人票ご提供のお願い】

北里大学就職センターでは、各企業・機関から受領した貴重な求人情報は、「進路支援システム」（本大学学生用就職情報公開サイト）に一括掲載し、全キャンパスの学生がWebで閲覧できるシステムになっています。

同窓会の皆様からも是非、後輩のために求人情報等を就職センターにご提供ください。手続きにつきましては、本学ホームページ「進路・就職」から入力できますし、ご郵送・FAX・E-mailでも受付けております。

卒業後に転職・就職を希望している方も「進路支援システム」がご利用できます。ご利用頂く場合には、ID・パスワードが必要となりますので、就職センターまでご連絡ください。

【北里大学 就職センター】 TEL 042-778-9745・9747
E-mail syusyoku@kitasato-u.ac.jp

同窓会からのお知らせとお願い

平素は同窓会活動にご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。以下の点につきまして、会員の皆さまにお知らせとお願いがございます。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

【理学部パンフレット同封について】

2008年第11号の会報発送より、北里大学理学部パンフレットを毎年1,000名の方々に同封しております。現在の北里大学理学部の様子がわかる他、ご子息・ご息女やお知り合いの方々に北里大学理学部をご紹介いただければ幸いです。

【同窓会へのメールについて】

近年、迷惑メールが増加しております。その判別のために、会員の皆さまが本会にメールされる場合は、「件名」欄に以下の事項をご記載下さいますようお願い申し上げます。

＜卒業年または卒業期、卒業学科、氏名＞
記載例：1971年化学科卒業 理学太郎 または
6HC 理学太郎

【会報への寄稿について】

同窓会会報は年に1度の同窓生との交流の場です。皆さまの近況報告や同期会のお知らせ、大学時代の思い出などをお気軽に寄稿下さい。同時に、会報へのご意見もお寄せいただければと思います。

編集後記

理学部同窓会会員の皆様こんにちは、衛生学部化学科19期生の八井田文子です。同窓会報第20号が完成致しましたのでお届けいたします。お忙しい中ご寄稿いただきました方々に、この場をお借りして御礼申し上げます。なお、ご意見ご感想がありましたら是非事務局までお寄せ下さい。

北里柴三郎先生の生誕の地、熊本に地震が起きたのは、今年4月のことでした。二度の地震で熊本城と熊本城内の重要文化財建造物13箇所が被害に遭い、心を痛めた方が多数おられたと思います。熊本城の石垣は武者返しと呼ばれ、建設された当時のままで幾度の災害にも崩れ落ちることがありませんでした。しかし、その石垣が一部を残し崩れ、結果その当時の石垣造りに携わった人々が、現在のハイテク技術にも勝る技術を持っていた事が改めて証明されました。今後20年以上かけて再建されていくこととなりますが、後世の人々に伝えるためにも、建設当時の技術を残しつつ再建してほしいと思っています。

北里大学理学部同窓会報

発行 平成29年1月31日
発行者 北里大学理学部同窓会
〒252-0373 神奈川県相模原市南区北里1-15-1
北里大学理学部内 TEL/FAX 042-778-9032
E-mail : info@kitasato-rigaku-d.jp
責任者 沼上清彦



資源循環型畜産で育った牛肉

草熟北里八雲牛の加工食品

品質に
配慮した
赤身肉!



こだわり

北里八雲牛

八雲町の風土に適した日本短角種を中心に外国種と交雑。資源循環型畜産の理念を掲げ、放牧と自前の牧草のみで飼育しブランド化に成功しました。牧草の旨みをとじこめたコクのある赤身肉は栄養成分も多く、北里大学の附属病院で病院食としても利用されています。



ハンバーグ
1パック 400円



ビーフシチュー
1パック 648円



コンビーフ
1箱(3缶入り) 1,500円
1缶 500円

北里オリジナルグッズ

北里大学の徽章、ロゴ、スクールモットーである『Sophia Kai Ergon』等をデザインに取り入れた、数々のオリジナルグッズをプロデュース、販売しています。



NEW
体温計 1個 2,700円



NEW
ステンレスマグカップ1個 540円



NEW
ブックカバー 1,620円

※価格は全て税込になります

「えっ、これがレトルトカレー!？」
北海道の旨みがギュウッとつまった贅沢なカレーを皆様に



ビーフカレー
1パック 540円

美味しさを
つくり出す
製造工場!



こだわり

創業明治12年/函館

五島軒は初代店主、若山惣太郎がロシア料理とパン・ケーキの店として明治12年に創業しました。明治19年の大火後フランス料理店として再出発し、以来みなさまにケーキや洋食・カレーなど多彩な味をお届けしております。